

# 外来輸血の注意喚起文

新潟県合同輸血療法委員会 安全対策班 2015.3.25 初版公開

## 外来輸血を施行される患者に配布するための 輸血副作用注意喚起文書テンプレート



発熱・悪寒



呼吸苦・倦怠感



血尿



皮膚症状



1ヶ月半  
注意  
24時間  
特に注意



発症時医療機関に連絡

外来で輸血を行っている医療機関では、患者さんの帰宅後の輸血副作用対策が重要です。外来での口頭説明・患者からの電話連絡での対応に加え、文書による注意喚起が有効です。

輸血副作用対応に関する注意喚起文書のテンプレートを作成しました。輸血副作用症状・注意期間は、輸血副作用対応ガイド([http://www.ngodo.net/information/info\\_c/annex/4\\_file.pdf](http://www.ngodo.net/information/info_c/annex/4_file.pdf))に概ね則った内容となっています。外来輸血副作用対応を検討している医療機関の一助となれば幸いです。

## 使用方法

- ① 本PDFファイル2ページ目を印刷し、医療機関名と連絡先を記入し使用します。
- ② Wordファイル請求  
本文・レイアウト・フォント等編集して使用する場合は、新潟県合同輸血療法委員会ホームページ内のお役立ち情報から請求して下さい。



折り返し、Wordファイルをお送り致します。送付までの間、時間に猶予を頂く場合があります事をご了承下さい。

### ！分科会での活動報告

各分科会で作成した活動報告をPDFファイルでアップしております。

ExcelやWordのファイルをご希望の方はメールでお問い合わせ下さい。お問い合わせはこちらからお願います。

！一覧を見る

# 輸血を受けられた方へ

輸血を受けてから1ヶ月半の間、下記の症状があらわれた場合、輸血による副作用の可能性がります。

特に、輸血を受けてから24時間以内は症状の発生に十分ご注意ください。



このような症状が出たら、早急に当院に連絡して下さい。

また、その際は輸血を受けた事を確実に  
お伝え下さい。

連絡先：